常磐毎日新聞
日刊
十二月五日夕刊
定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵稅五厘
廣告料　普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜、祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠[illegible]
福島縣　平・長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京　四〇二二〇番

天氣豫報

今晩は北の風　晴
明日も北の風　晴

イワシの大漁に　小名濱大賑ひ

一隻で一萬餘圓の水揚高

當分豊漁つゞき

夏季以來鹽釜港に寄泊して金華山沖合に出漁中の小名濱揚繰漁船十八條は秋職の大漁を喜び鰯群の南下せると共に過般一齊に小名濱港に歸港し鰯群を眺めながら北西風の强い爲めに只徒に指を喰いて天を恨むの外なかつたのであるが昨四日は朝來の大霜全の快晴揚繰日和と化したので漁業家一般船員を督して出船せしめ大漁を待望し居つたのであつたが夕方から歸港した各漁船は何れも大漁の旗を押し立て大漁歌を擘張り上げ入港し初めたのであるが其大漁と來ては近年稀な水揚げで總体約二萬五千桝一桝金參圓四五十錢見當の爲めに野崎貞行君の如きは一萬一千餘圓の最高水揚げを示し從來大漁と稱しても七八千圓が最極であつたが一萬圓を超越した大漁は全く空前絶後として祝詞を呈するものゝ道理であつて柳内儀助、三代義勝兩氏も一萬圓內外に及び最低三四千圓程度であつて時ならぬ鰯の山と揚繰成金とを産むと云ふ景氣のよい濱ならでは見る事の出來ぬ活況を呈し引續き大漁あるものとして全町活氣に滿ち充ちて居る

山間部に　實行組合誕生

箕輪村大利、同榊小屋、永戸村合戸、同渡戸ではこの程各農事實行組合を設立した

平市から見舞

既報平署並に內鄉村當局磐城炭礦では同村宮の大火の罹災者にそれ〴〵救護の手を延べることになり對策を講じてゐるが平市でも見舞金五十圓を贈つた

闇取引の新人物　續々と登場

一俵卅錢の暴利

〃またもや反國策事件が暴露された〃ガンリンから木炭闇取引事件の取締に乘出した平署では今五日田人村黑田木炭仲買人陳部淸之助（三七）湯本町三函木炭小賣人比佐甚吉（三四）同高木熊次郎（五六）の三名を檢擧した

陳野は今年六月頃から小名濱町木炭仲買人鯨幸榮（三九）に對し木炭一千俵を公定價格より一俵につき六錢乃至二十錢高く賣り付けたことが發覺したもの　だが比佐、高木の兩名は八月頃から最近まで一俵から二十五錢乃至三十錢を儲け得意先へ販賣懐をこやしてゐたもので ある

どんな榮養が……　この冬に必要でしょう

平保健所で研究發表

寒い冬の訪れに、木炭不足、飯米不足とゝもに、雪國へは榮養不足の脅威が襲つて來る、さなきだに冬は體溫を保つだけの熱量を補給する上からカロリー分を澤山攝取せねばならぬのに、本年の如く燃料のない冬は外部からの保溫に代るだけの內部保溫が大切となるのだ、また冬は殊にヴイタミンの欠乏により細菌に對する肉體の抵抗力が減殺され、風邪の引き易い季節故、この問題はゆるがせに出來ぬ重要な問題なのだではこのヴイタミン不足を何によつて補給するか、この「冬の榮養」を平保健所に聽く――

何と言つても新鮮な野菜を食べることが第一だが、これが仲々難しいので、そのため野菜の貯藏が重要となつて來る、冬期間の榮養に必要な野菜として都市農村を問はず、最も簡單に攝取出來るものとして次の四種位が擧げられる、またこの外に成るべく脂肪分のものを攝つてカロリーを多くすることが必要です

▼大根葉の陽干―これは澤庵漬にする大根の葉を捨てずに取つておき、よく陽に干して後煮沸して味噌汁の味にすれば良い

▼モヤシ―大豆その他豆類のモヤシを作つて食べると榮養價値も豊富であるから、野菜代用として適當である

▼浸大豆―大豆を柔らかく茹で大根おろしをかけて食べる

▼納豆―納豆はそのまゝ食べても良く、また味噌汁等に混ぜて食べても良い

江名に　護國神社

五千圓で建立

江名町ではこの程の町會で護國神社の建設を決定

作山町長は縣の了解を求めることになり四日出縣した

總工費は五千圓でこのうち一千圓は町の負擔

四千圓は一般の寄附に俟つ方針である

永山氏の篤志

川前村川前永山德一氏はこの程國防費として金百圓を小野新町署に寄託したが同氏は今次事變に名譽の戰死を遂げた勇士の冥福を祈るため觀世音經二千餘字を淨經して靈前に供へ遺家族を感激させた外同村警防團のガソリンポンプ置場と夜警屯所が狹隘で何かと不便であるのに鑑み六坪建の既設車庫を移轉建築寄附銃後防衛の完璧を期すなど各方面に盡力感謝されてゐる

獵天狗は活躍す!!!

今年は山間の繁殖旺盛

霜が一度降ると鳥獸はめつきり脂肪が増すといふ―平署管內の獵天狗連は山野に獲物を探がし廻つてゐるが地方の獵場は何といつても三阪、澤渡方面から田人、上遠野、入遠野、川部村地內の山野で今春雛雉、山鳥の雛など約五百羽放つた上産卵期に雨が少なかつたため繁殖率がよく殊に全國一を誇る本縣の兎毛皮軍部納入を强化するため管內天狗達は兎獵を目指し張り切つてゐる、尙平獵友會は財團法人大日本獵友會平支部と改稱され四日左の諸氏役員に任命された

支部長（平署長）柴田鶴作、副支部長馬目太平治、平方部幹事長島菊苗、郡部幹事佐藤作藏外三十三名

モミ摺料金　全面的値上

市、郡部を通じて

石城郡動力利用籾摺業者組合では石城並に平市一圓を區域として現在二百九十四名の會員に二百三十臺の發動機を有し平年四十三萬俵の生産米の脫殼籾摺をなしてゐるが今年は主要の油類が諸物價の昻騰から收穫期を前に前年の協定より値上げしやうとしたところ九・一八の價格統制令でストツプされたので前年の協定料金を踏襲して來たが何分にも必要資材の配給不圓滑のため浪費の加重に余儀なくされ今や業者の利潤の限界を超える損失を蒙るに至つたのでこの程左の如き料金の値上げ方を縣知事に請願した

△籾摺包裝指導付一俵二十二錢（十俵以下二十五錢）△稻扱一石に付四十錢（十石以下四十五錢）△大麥扱一石に付六十五錢（十石以下七十錢）△小麥扱一石に付九十錢△精米一俵に付三十八錢△動力使用一時間に付一圓八十錢（但し山間部は一割增）

小名濱支局通信

黒田秀雄論　（一）

支局長　小野　務平

▽緒　論△

小名濱町に於て無盡業者の店を持つものに磐城無盡、湯本無盡、而して郡山無盡の三店がある、そして郡山無盡會社の出張所が字本町の中央に堂々たる門戸を張つて開業し居るのを見受くるが其出張所長として總采配を揮つて居る人に黒田秀雄君と云ふのがある、一見女性的柔和な吹けば飛ぶ樣な蒲柳の質に見るからに頑健さが發見し得ない樣ではあるが、もし之を基礎として掛るものなれば其藏する、錐の如き鋭利さを何時とはなしに感ずるのが彼氏の本領であると見る節が多い、そして其柔和な態度で迫力の點になると却々强烈で同つては爲し遂げると云ふのが彼黒田君の潛勢力である

之れが爲めに其出張所としての披露は僅に二年足らずであるが其業績に至つては營先輩會社を凌駕して陸々たる業績を擧げ得て居るに見ては二度驚天の外はない、こう云ふ底力のある黒田君はどうして郡山無盡に這入りそして小名濱町駐在となつて腕を揮り込むだかと云ふ點に一寸疑問が湧く更に黒田氏の生い立ちは如何なる經歴を有するかに質問が起つて來る

記者は今黒田秀雄論を公けにして其人物、手腕、更に創思力、實行力等に就て品隲を試み君の足跡の印した過去の歴史に及んで檢討の筆を進め以て其長短を剔抉して世の同業者否社會人類の爲めに資せんとするものである請ふ明日の紙上を待て

（未完）

植田演武　大會戰績

既報、武德會植田分會の演武大會はこの程植田小學校で擧行約五百名の出場選手が龍虎相うつて銃後練武の力强さを示したが戰績次の通り

◇劍道優勝旗爭奪試合　1錦2植田3渡邊、高點試合　1增尾2山形3神本◇少年組對校試合　1錦2植田3泉◇柔道　高點試合有段者の部1[illegible]上遠野3佐々木◇無段者の部1松川2鈴木3大崎◇銃劍術　1佐藤2齋藤3二平◇弓道　1平子2矢內3吉田

家庭防空群に　揚る非常時意識

一朝有事に備へよと

毎月演習擧行

一朝有事に備へて家庭防空群が示すこの張り切り―平市胡麻澤家庭防空群第三、四群十五戸は全市防空群に率先、第二次防空演習以來毎日十五日に凛々しい服裝のもとに防空、防火の演習を行ひ平署員を感激せしめてゐるが三日夜には前指導員茂木茂さんの指導のもとに肌を刺す寒さをついて全群員の非常召集を行ひ服裝の點檢後直ちに群內火災の想定のもとに群員一致の消火作業をなし好評を博した、この二群は昨年の第二次防空演習には〃優良群〃として縣から表彰された程で全群員は〃第一線の兵隊さんを思ひ、國家非常時を考へる時暑さ寒さなど頭になく常にこうした氣構へをなす事がわたし達の務だわ〃と非常な張り切りを示してゐる

小野上等兵散華

小名濱町字定西出身吉野部隊小野寅吉上等兵は去月廿日〇〇病院で戰病死した旨この程實家へ通知があつた、同君は父丑吉氏（六八）母やすさん（六二）の五男で留守宅には兩親のほか兄妹六人があり農業を營んでゐる

川前青年團

十六日總會開く

川前村青年團の總會は來る十六日開かれるが平職業紹介所から係員出張講演する

列車に飛込み　農夫体の女自殺

身許不明で假埋葬

三日午後九時頃小川鄉驛構內西方百米赤井村高萩地內鐵橋で上り旅客列車に飛び込み自殺を遂げた年齡二十七、八歳位百姓風の婦人あるを四日朝通行人が發見平署で檢視したが赤縱縞の木綿袷を着メリンスの帶をしめ郡山平間の乘車券を所持してゐる外遺書等なく身許その他一切不明なところから同日赤井村で假埋葬に附した

大陸を旅して　（一五）

篠山　廉

奉天の一夜

夕暗迫つた頃疲れ切つた身体を、東亞旅館へ運んだ、既に吾等の歸りを待ち侘びて居られたのは、長谷川市視學の娘さんだ、お母さんに瓜つの風貌なので、直ぐ判つて初めて交はす言葉もまるで舊知のやう、おんぶして來られた可愛いお子さん、何と思つてか、手を出して抱からうとするいじらしさに先、づゆつくりと脊からおろせば、すぐ來てだつこする、まるで孫にでもあつたやう、思ひば先年良緣を得て帝大出の、理學士に嫁がれたが新婚の夢も束の間僅かに同棲一ケ年程で愛兒を遺して夫君に先たれ、今はうら若き身に未亡人として遺兒の成育を賴りに世を送らるゝ不幸の人、こみ上げてくる同情の淚に耐え難きに、愛兒まで初めて見る吾れに懷くさま、唯だ人ごとゝ思はれず、慰めん言葉もなかりき。噫吾れ今、雲外千里の異鄕にあり、望鄕の念禁じ難き時、初めて見る父の顏も知ることなく世に生れ出し愛兒を抱きて、同棲僅かにして夫を亡へる人の心を察し、又この不幸の愛娘を遠く此の地に置く兩親の心中に思ひを馳するとき如何なる言葉を以て慰撫せんかに苦しむのみ、お家にお便りでもありませんかと言ふさへ語つまりて辛じて言ひ出したる始末、兎に角、同じ年頃の娘を持つ身には斯る時、自分にも解し難き心境に陷る蓋し人情なるべし、同室にありて一行は最後まで余が娘が訪ね來たりしものとのみ見て居つた後で聞かされたが吾れも亦一時はそんな氣がしたから無理もなき判斷なるべし

其內嘗て本宮在職時代の職員、油井秋平君夫妻が同じ位の愛兒を抱いてくる、これも、すぐ抱いてやると、ニコ〳〵喜んで居る、ナンダ滿洲に來たら、子供にもすかれる程、好い男否お爺さんになつたか

この夜は茶天狗も休戰それは盤あれども石少なく落膽すること甚し

奉天市見學

十月十日、今日一日觀光バスで奉天市內の見學である

奉天は遼河の支流渾河の抱く沃野の中に立ち、滿洲主要の都市で往昔から此の地を相して域を築き遠く渤海時代から元、明、淸の諸代を經て盛京とか奉天と呼ばれた都で全土鐵路の結節點で輻輳をなして居る人口七十四萬內日本人十一萬五千の大都市である、嘗て事變前迄で張學良が北邊鎭司令として時めいた地、今は彼れの公館も國立圖書館として殘されてある、尙ほ日露戰役の當時、大山將軍が、榮えある入城をされた大南門も今も名所の一として紹介される

今吾等バスは、市の大通をぬけて郊外に進み北陵に向つた、松の大木が蓊尙は暗へ陵を圍んで居る陵は淸朝第二代太宗文皇帝の墓で入口には一大牌樓が立ち前正門は交通遮斷せられ、側面より入れば、參道の兩側に獅子、キリン、馬の大理石像が立ち並び更に三層樓の隆恩門を潛れば拜殿があるその後方に半圓形の靈殿がある

この陵幸ひにして幾度か戰禍を免かれて損傷なかりしが張學良の時代これを守る兵が僅か五十錢位で屋根瓦を賣つたといふあさましい話をきかされた

一等賞に入選

平市銀冶町草野央氏は過般來本縣觀光協會で募集してゐた觀光寫眞〃秋の部〃に「夏井川溪谷」を應募したが見事一等賞を獲得し外三等一席に「東山溫泉」佳作に二點入賞した、尙市內堂ノ前の梅崎安正氏も三等二席に入選した

平市人事

回出生

△十五町目二六鹽政勝氏長女位千子さん
△新川町一四坂野勝美氏長女喜美子さん

回婚姻

△大町七諸橋武氏（二六）と白銀町一ノ四吉田喜美子さん（二二）

ラヂオ

今晩の部

▲後六、〇〇　子供の時間
▼後六、二五　講演「印度の政情」高岡大輔
▼後七、四〇　講演「最近における米國の內外政策」吉澤淸次郎
▼後八、〇〇　音樂漫談
▼後八、四〇　靑年の時間　加藤完治
▼後九、〇〇　連續ラヂオ

明日の部

▼前九、四五　幼兒の時間　童話物語「雪やコンコ」靑空コドモ會
▼前一〇、〇〇　家庭メモ
▼前一〇、二〇　家庭の時間「寒さへの心構へ」仙臺市立病院長一見赴夫
▼前一一、一〇　小學生の時間「尋三」朗讀とスケツチ「軍艦」大江東こども會
▼後〇、〇五　和洋合奏、幻想曲他、富士管絃樂團
▼後三、〇〇　婦人の時間「大陸に志す女性へ」山邊京子
▼後六、〇〇　子供の時間
▼後六、二五　農山漁村産業講座多「角的農業經營の實際に就て」井上勇
▼後七、三〇　（國民歌謠）その火絶やすな他（獨唱）鈴木富美子
▼後七、四〇　講演「今次歐洲大戰の特色」林群喜
▼後八、〇〇　浪花節「吹雪を衝いて」宮川松安
▼後八、四〇　ニュース演藝
▼後九、〇〇　連續ラヂオ小說「吉野葛」坂東簑助ほか

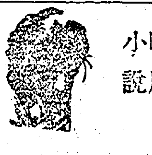
産科　婦人科　專門
平市南町
根本醫院
（入院隨時）
【電話三四番】

エタニツトパイプ
鐵管代用

	耐壓封度	內經	一本ノ長サ	一本ノ價額	ギボルト繼手代
D級	250	50,,	3m	4.72	2.90
〃	250	75	3	6.97	3.50
B級	100	100	3	7.90	6.25
〃	100	150	4	17.70	9.20

平市仲町通り
㊫ 山田文一商店
電話262番

御婚禮御着附
パーマネントウエーブ
和洋結髮
オゾン美顏術
御染港洗毛
御爪美術
■御婚禮用の〃かつら〃も御座います。
平市驛前
水野化粧院
電話六七八（營業所）
五二五（自宅）



時局小說

驀進

（禁上演映畫化）

士別丁樹
北野傳畫

第二十五回

陷穽（かんせい）（五）

――一兵としても、[illegible]のうちに、それに騙されてゐることを[illegible]つた。

[illegible]由紀子は、困つてゐた――

「では、ほんとうの[illegible]を打明けてご[illegible]ですね。あの[illegible]子さんて方をうちの兄さんね、兄さんが、とても[illegible]に[illegible]つて居りますのよ。兄てゐても、それは[illegible]な[illegible]に

「…………」

「どう？　中野さんには、それでまでお分かりにならなかつた？」

「さうですか。[illegible]には、[illegible]が付きませんでした」

一兵に、うめくやうに[illegible]つた。

「ですから、あたし、兄の[illegible]に[illegible]

由紀子は、一兵が、[illegible]に[illegible]へ込んでしまつたことに[illegible]がつくと

「あら、中野さん。どうかなすつて……」

と、[illegible]しむやうな[illegible]つきをしてから云つた。

「どうもしやしません」

「でも、[illegible]に、[illegible]へ込んでゐらつしやるぢやないの？」

「いゝえ、そんなことありませんよ。少し[illegible]がするんですから

「あら、不可ませんわね。ではどうしやうかしら？……あたしまだお話があるんだけど」

「どうか話して下さい。お聞きしますよ」

「さう！　ぢや、お話してよ……あのネ、あたし、[illegible]下にも、[illegible]の

[illegible]して、出來るだけの[illegible]力してやりたいと思つてみますの？……[illegible]、中野さん。[illegible]下の方が先に[illegible]さんを[illegible]してゐらつしやるんやしれら。あたし、きつぱり[illegible]を聞いてよ」

「いゝえ、[illegible]。[illegible]して[illegible]子さんと[illegible]してなんかゐません

かれは、[illegible]せず[illegible]になつていつた。[illegible]子と[illegible]してゐるうちに、自分が、これまで[illegible]のうちに、[illegible]子を[illegible]してゐたといふ[illegible]を、はつきりと[illegible]めたのだつた。

すると、急に、一兵は、[illegible]子が[illegible]く[illegible]まれて來る[illegible]がした。

[illegible]子のやうな美しい女[illegible]にかれとしては、少くとも[illegible]にも[illegible]にも[illegible]つたことがない。

――その[illegible]子を、[illegible]で自分の[illegible]のとゞかない[illegible]へやつてしまふ[illegible]さを[illegible]ふと、かれは、[illegible]ても立つてもゐられない[illegible]になつて[illegible]るのである。――

[illegible]の[illegible]として、[illegible]へ來て[illegible]たいと思ひますのよ。如何？

「おいや？」

一兵は、[illegible]を上げて、[illegible]女の[illegible]を[illegible]めた。そして

「いゝえ。それでしたら、[illegible]つてもないと思ひます。といふのは、[illegible]に入つてから、[illegible]少しも[illegible]を[illegible]ふ[illegible]がないものですから、[illegible]れやしないかと[illegible]してゐたんです。さう[illegible]へると[illegible]好都合です……」

一兵は、むしろ、[illegible]と[illegible]はれるほどに[illegible]した[illegible]を[illegible]かべて云つた。

彼は[illegible]子の[illegible]にゐるにも[illegible]分も[illegible]田家へ入り込むのが何よりのことだと[illegible]ひついたのである。由紀子は、一兵から、この[illegible]を聞くと、まるで人のところを[illegible]すやうな大きい[illegible]に一杯の笑みをたゝえて

「まあ――　では、[illegible]さるのネ？」

少年少女のページ

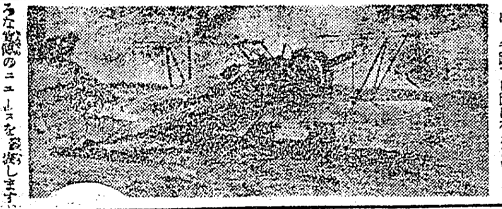
——子供[illegible]——

兄「おまへは頭がたらんね」

弟「いくつあればいゝの、一つじやいけないの」

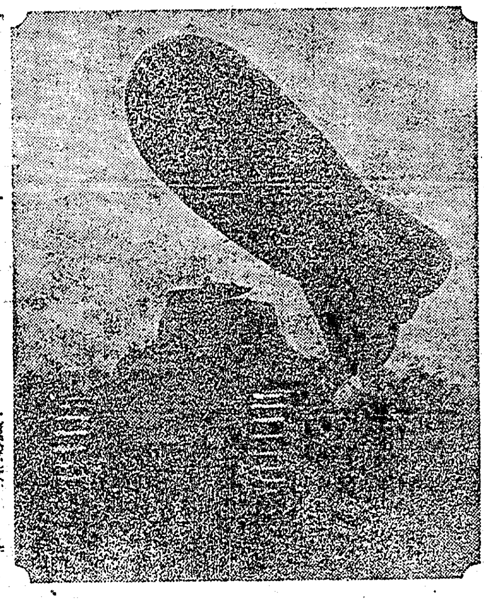
兄「？？」

ヨーロッパから來る
生々しい記事や寫眞
電報の打ち方も平時と違ふ



◇……戰火あがるヨーロッパの戰爭の新聞記事や寫眞はどのやうにして日本におくられてくるのでせうか？近代戰爭は宣傳戰といふやうに、各國で自國に有利ないろいろな宣傳のニュースを發表します。特派員はこの宣傳に飜弄せられぬやうに公正に判斷して打電しますが本社の編輯局でも各國の特派員の電報や通信社の電報を見て公平に取捨して紙面に掲げます。ドイツ、イギリス軍の發表がドイツは航空母艦を撃沈したと云ひ、イギリスは撃沈されずといふやうな場合などは双方の發表をかゝげたりします。平時の電報文は各國ともにローマ字の日本語でよいのですが、戰爭が始まると戰運に影響するためイギリス、フランス、ソ聯など、全部その國の國語でなければ打電できません。東京で各國語の電報を受信すると大いそぎで日本文字に譯して掲げます。戰時中は時間も非常にかゝり平時なら一、二時間でくる電報が至急報でパリ、ロンドンから三、四時間、ローマ、ベルリンから四、五時間も要します。アメリカで中繼する電報も矢張り四、五時間を要するのです。日本の夜はヨーロッパの晝です。ヨーロッパの晝の出來事は日本の夜中に續々打電されてくるので、編輯局も印刷工場も不眠の活動で新しいニュースを紙面に掲げます。電報料は一語たとへば犬のドッグといの字が　ヨーロッパ　からは普通二圓三十四錢、新聞電報三十錢、至急報はその三倍です。ニューヨークからは新聞電報一語五十三錢ですから戰爭中は全部至急報ですから大體一語二圓位を要しますから一寸した記事は電報料が百圓、二百圓になります。平時に比し數十倍の料[illegible]電報があつまつてゐます、電報のほかに國際でんわも利用します午後五時から四時間位の間に利用できるのですが、戰爭がはじまつて交戰國とは不通となり　アメリカ、イタリアその他の中立國と通ずる位です。寫眞はアメリカ、日本間の電送寫眞も近く實現する外、交戰各國や中立國に日本國際N、E式の寫眞電送機をすゑつける計劃もありますが、現在はアメリカへ電送された寫眞を航空便、船便を利用して一刻も早く入手する方法や南方コースを航空便で急送して香港澳門から電送する方法や、シベリヤ鐵道で運んで飛行機　電送寫眞で入手する方法などを講じてゐます。アメリカから日本へ電送寫眞が實現すればもつと早く寫眞が來るでせうがただヨーロッパからアメリカへ電送した寫眞を、さらに日本へ電送することは寫眞の技術上むづかしいとされてゐますが日本のすぐれた技術は近く硝煙の歐洲の實況寫眞が[illegible]わが國に電送されるやうに實現すべく遞信省では「日本科學」の勝利だと意氣込んでゐます。

飛行機をとる網



これは阻塞氣球です。これを空いつぱいにとばして、その一つ一つの間に金あみをはりめぐらします。その金あみに、とんできた敵の飛行機がぶつゝかるとつばさがめちやくにくだけてしまひます。このしかけを阻塞氣球と、いふのですが、フランスのパリーの空のまはりには、ドイツの飛行機いつでも來いと、これが一ぱいにはりめぐらされてゐるさうです

壕や大木を突破
實戰的訓練
戰車學校見學記

戰車の活躍は今事變の初めから數多くの武勳をたて、いまや、「動く要塞」として皇軍戰車隊の威力は世界のおそれるところとなりました。それだけに、こんど新築された少年戰車兵も、募集人員の數十倍といふ應募者があつて、試驗の結果十二月一日に入學することになりましたが、一體どんな訓練を受けるのか、戰車學校の生活をのぞいてみませう。

少年戰車兵になるには、特別に機械のことを知つてゐなければならぬといふことはありません。身體が丈夫で學業中以上の成績なら誰でも試驗に及第するはずです。しかし、戰車兵としてすぐれた働きをするためには機敏であること、剛膽であること、沈着であることが必要です。

……

戰車の働きはみなさんもよくごぞんじの通り、歩兵にすゝんで味方の兵をみちびき、敵を[illegible]させることにあるのですから、敵の火兵や機關銃隊の猛攻にあつても沈着でなければなりませんし、また膽力のすわつた人でなければ勇ましい進軍もできぬわけです。

……

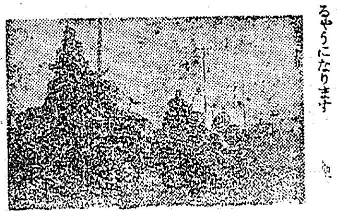
少年戰車兵はまづ身體をつくることと戰爭のための學科（歷史、數學、化學）と各種の機械や分解、組立などの技術の練習をして、それができるやうになると戰車に乘つて實戰の演習をするやうになります

……

戰車學校には戰車を組立てる工場がちやんとできてゐて、そこで發動機やその他の機械の組立、修繕などができるやうになつてゐます

……

また、演習は實戰さながら、ひろい演習場をかけ廻りながら深い堀りや鐵條網を突破、さらに演習になる大木までも倒して驀進しますその勇壯なこと大戰の勇姿を偲ばせて、この演習をみてゐた記者は感激があつくなりました。



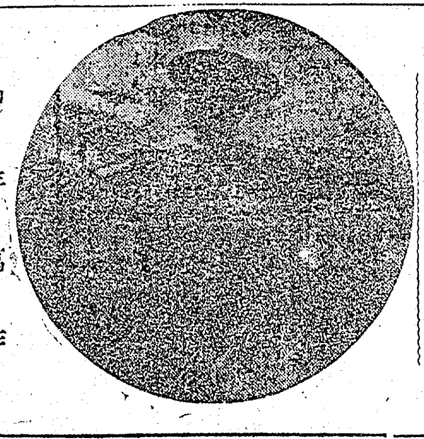
司令官の少年時代
繪筆を捨て、誓つた祖國愛
不斷の努力で今日の地位へ

勇敢なドイツ軍を向ふにまはして、フランスのマジノ線を守る英、佛聯合軍の總司令官フランスのガムラン將軍は、今日の高い地位を努力の二字によつてかち得た不屈な偉人です。

○……ガムラン將軍の家は代々軍人が非常に多く出てゐました、特に將軍のお父さんも陸軍の將校で、ガムランの生れる二年前の普佛戰爭（ドイツとフランスの戰爭）に從軍した方です。この戰爭でフランスはさんざんに負けて、アルサスローレンをドイツにとられてしまひました。

○……將軍のお父さんはまだちひさかつたガムランをよく膝の上に抱いて、ガムラン家は代々立派な軍人としてフランスのためにつくしてきたことを語り、特に、ドイツにとられたストラスブルグの地は、お祖父さんが司令官として守つてゐた町であることを話しました。この話をきくたびにガムラン少年はかはいゝこぶしをにぎつて、きつと立派な軍人になつてドイツと戰ふことを一人で胸にちかつてゐたのです

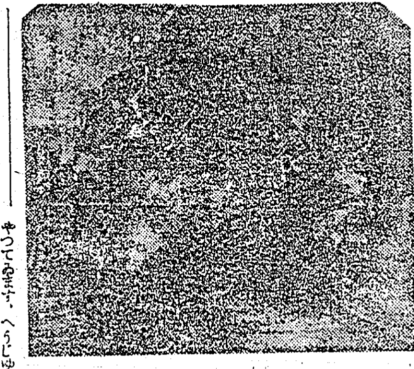
○……少年時代のガムランは繪が非常に上手で自分も偉い畫家にならうと考へてゐましたが、祖國フランスをまもる軍人になるために、サンシールの士官學校へ入學する時には、好きな繪をきつぱりとあきらめ、繪筆をすてゝ一所懸命勉強したので、士官學校を一番で卒業し今日の大將軍の一歩をふみ出したのです。



四年　萬作

秋の夜空にお客樣

フランス人ジヤコビニ氏發見の「ジヤコビニ彗星」が日本で九日前後に觀測できるので天文臺その他で觀測すべく待ちかまへてゐます、この彗星は午後八時前後から北極星のうへにかゞやく龍座の附近に肉眼でもみえますが流星を[illegible]のやうに毎秒二十五、六個も降らします。流星は地球の大氣層にふれると空氣の摩擦で火をふきながら落下、地上百四十キロから百キロのところで光を發してわれわれの眼にうつるわけですが、地上に隕石としておちるものは滅多になく多くは空氣中で燃えつくします。流星はいつ降らすか分りません



コドモの常識
日本の鐵道はなぜ狹軌か？
標準式よりせまい

日本最初の鐵道は明治四年にできた新橋（東京）横濱間です、これは當時政府がやとつたイギリスの技師が作つたものですがこの技師はイギリスが當時その植民地インドの鐵道をつくつてゐたので、同じ方法でつくつたものです、そしてこの新橋横濱間の鐵道がへうじゆんになつて、全國の鐵道がしかれました、鐵道省の鐵道はそのためどれもレールとレールの間の距離が同じで一米〇六七あります、レールのしきかたはいろいろありますが、へうじゆん式はレールのはばが一米四三五で歐洲、支那、米國をはじめ諸國はこの方法でやつてゐます。へうじゆん式よりせまい日本の鐵道は狹軌です、またこれよりひろいシベリヤ鐵道は廣軌で一米五二あります。狹軌はレールのはばが狹い[illegible]

帝都演藝華豪名流出演
應召軍人慰問品基金造成演藝大會
浪花節　廣澤虎若
同　鈴木照子
講談　神田伯都
歌踊　丸山和歌子
外數種
場所　平公會堂
期日　十二月十九日
會費　金八十錢
ヒル正午　夜五時
主催　磐城通信社
後援　平市役所　外各種團体

高久病院
院長　醫學士　高久忠
副院長　新潟醫學士　赤羽清
藥局長　藥劑師　佐竹菊雄
内科小兒科　外科花柳病科　耳鼻咽喉科
平市田町　電話五一三番
◎看護婦至急募集

メガネ專門の店
メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい……
玉屋　平市本町二丁目

病室增築、手術室完備
醫學博士　五十嵐雄二
産科　婦人科
平市新川町　電話三六九番

手續簡易、利息低廉
庶民金庫の資金を御利用下さい
信用組合平庶民金庫内
庶民金庫平代理所

開院
歯科全般
口腔外科
歯列矯正
平郵便局ウラ通リ
平市南町四十五
鈴木歯科醫院
東京歯科醫學士　鈴木與一郎

◎診療科目
一、歯科一般
保存科、補綴科、機械補工科
小兒歯科、樽漏膿科、歯列矯正科
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町（松月堂向）
中野歯科醫院　電話五〇九番
院長　日本歯科醫學士　中野憲次
醫學士　鹽谷伍郎
補綴部主任　佐藤重義

是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券、質物一般
三井質店
平・四　電話六〇六番

一、産婦人科
一、外科一般
一、花柳病科
小名濱町小學校前（元土井醫院跡）
黑澤醫院
醫學士　黑澤廣
電話四五番

家傳　安流丸
梅毒とたい毒
吹出物にはれものは
安流丸に限る
阿部藥舖
平市田町

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平市南町一六（電話一七〇番）

秋から冬物は
是非！
當店から
（在庫豊富）
玉屋洋品店
平田町通電話六五六番

かき料理・なべ類　始めました
…是非御試食下さい…
かきふらい　かき酢ノ物
あんこう酢　よせなべ
たうちりなべ　ちりなべ
はまなべ　あんこなべ
かきなべ　ねぎまなべ
鳥なべ　牛及豚なべ
……此外御註文に應じ色々調理致します……
平二警察署通り
魚清食堂
電話六三三

出前持
炊事婦
至急入用

芳醇！
美味！
たひら正宗
山崎合名會社
電話一〇番

◎女車掌
（三名至急募集）
1、未經驗者ニ限ル
2、委細面談
3、優遇ス
三井タクシー
平市三丁目　電六八五番

内科外科
一般
金成醫院
金成忠義
平市鎌田町　電話三五八番

かぜ　せき
共通散「アコー」
本品は感冒、頭痛、解熱又は流行性感冒肺炎、喘息、急性、慢性の氣管支炎に効ける乾咳性の劇甚なる咳嗽發作に對し又子供には小兒に於ける氣管支カタル、カタル性肺炎、肋膜炎、咽喉カタル、百日咳等の鎭咳鎭痛解熱劑として効あり特に子供達の爲めに小兒用があります。
正價　三十錢、五十錢、一圓
平市古鍛冶町一〇（縣社石段下）
製劑發賣元　阿康藥局
責任者藥劑師　明治藥學士　阿部康雄
電話四〇番
振替東京三〇〇六五番

おそば!!!は
電話四番やぶそばへ
天ぷらそば　おかめ　玉子とぢ
月見　南ばん　五目
親子南ばん　釜揚げ　あんかけ
其他各種御座います。
何卒御試食の程御願申上げます。
平市田町

喜多流謠曲と仕舞のお稽古をお奬め致します
入會隨時
平市田町六九
喜多流　謠曲　仕舞
白土會
電話二二七番

株式先高必至
現物の買時
優良株御案内申上げます。
株式日報御申越次第御送付致します。
有價證券
實物問屋
富岡靖介商店
平市四丁目（電話一九一番）